

会派代表質問

「本市の都市計画」について

創 政

北田 宏彦 議員



問 本市の線引きは唯一、首都圏近郊地帯外でありながら、昭和48年建設大臣により指定され、首都圏のベッドタウンとして、大手デベロッパによる5団地の宅地開発が行われた。しかし、大網駅周辺、国道128号バイパスなど殆どが市街化調整区域に指定され、商業施設、量販店舗、自動車ディーラーなどが進出できず、近隣の茂原市、東金市と違い、賑わいのない税収も上がらない殺風景なまちなちとなってしまった。

答 指摘の通り、これまでの都市計画は、人口増加を前提に運用されていたが今後、人口減少が見込まれることから、状況の変化を踏まえた都市計画のあり方を検討する必要がある。まずは、開発許可の権限を県から本市へと委譲することにより本市の実情に応じたまちづくりが可能になると考える。

問 県からの開発許可権限の委譲については速やかに進めて頂きたい。また、市の発展を阻害している線引き制度の是正を再度強く求める。

答 新規就農の認定農業者は9名おり営業状況は、1名の新規就農者が就農計画の目標所得を超えており、他も、農地や機械を取得し、生産・出荷が行われている。今後、資金の確保、営農技術の取得などのサポート体制を強化していく。

問 成功事例をビジネスモデルとして新規就農者呼び込み、本市農業の活性化に繋げて頂きたい。

答 本市の土地改良事業は既に40〜50年経過し、耐用年数を過ぎた用排水路施設の老朽化が著しい。これら施設の改修・整備には、如何対応されるのか。

問 各農業団体と協議しながら地元負担が軽減されるよう幅広く補助制度を検討し、計画的な施設の改修を推進していく。

持続可能な財政運営の確立に努める。他にスーパーシティ構想について質問しました。

関連質問

森 建二 議員



問 平成31年度予算編成について財政の健全化は、健全化そのものが目的ではない。新しい事業、市民の福祉等に資する事を進めることが目的。財政が厳しい中、どういった考えと目的で作られた予算なのか。

答 既存事業の廃止または縮小、新規事業の抑制について重点的に取り組んだ結果、一般会計の予算規模は5年ぶりに150億円を下回り、対前年度比4.4%減の148億4,500万円となりました。目的別の歳出予算では、総務費や民生費が増加する一方で、大規模な建設事業が終了する土木費や消防費が大幅に減少した所です。主な事業ですが、平成31年度中にみどりが丘に完成予定の「(仮称)子育て交流センター」の整備費や4月から事業内容を拡充する「子育て支援館」の運営経費を計上した他、新たに「移住・定住促進住宅取得等奨励金」を創設し、子育て環境の一層の充実を図る事としました。また、環境省の補助金を活用して、大網病院や農村環境改善センターなどに省エネ設備を導入するなど、有利な財源を確保しつつ公共施設の老朽化に伴う施設の整備に取り組む事としています。

問 都市計画税をいつ頃導入し、どのような事業に充てるのか。

答 市の発展のためにも本税を導入し、市街地の整備を進めていく必要があると考えている。導入の時期については課題等を整理し、市民の皆様や議会のご意見等も十分に伺い、導入に向け取り組んでいきたい。

問 都市計画税導入の目的を明確にし、議会とも議論を深めて頂き、市民の皆さんの理解をしっかりと得られるように取り組んで頂きたい。

答 経常収支比率が96.9%と極めて高い数値となり、主な基金の残高も大幅に減少し大変厳しい状況にある。早期に緊急財政対策を検討し、

問 収入が足りなければ、歳入を増やす事を考えていくべき。市として収入を増やす事についての考えは。

答 持続可能な財政運営を確立するために、市税を始めとする歳入の確保を図っていく事は重要と考えます。市では、市税の徴収率の向上に努め、子育て支援策の充実により子育て世代の移住・定住の促進を図る他、市街化調整区域における地区計画運用基準の策定や企業誘致条例の改正などにより、国道128号沿道や大網駅周辺を中心に企業誘致を推進し、税収の増加を図る事としております。更に、都市計画税の導入の検討を進めると共に、使用料や手数料については、受益者負担の適正化の観点から見直しを図り、一層の財源の確保に努めて参ります。

問 「大網白里スマートIC」が3月24日に開通する。市民としては、総費用が43億円、市が11億9千万円、負担してICを作る事で経済的メリットがあるのか考えた時、現時点で周辺に何がしかの開発は見えない状況。大網駅南口や国道128号沿線も同様です。市のほぼ全域が「市街化調整区域」である事、「農地転用」の難しさ等、法的に難しい部分もあるかと思うが、ICを作り、これから周辺をどの様にしていくのか。

答 スマートICの開通により、交通アクセスが一段と向上します。この効果が市内の広範囲に及びます様駅周辺の整備や国道128号の沿道の活性化、そして子育て支援策の充実、あるいは企業誘致や観光振興など、必要な施策を実施していく中で、交流人口や定住人口の増加につなげて参りたいと考えます。

問 市役所組織機構の見直し(部制導入)、生活支援体制整備事業について、問い質しました。

答 子育て支援センター、マリールームは、就学前の児童と保護者が自由に利用でき、利用料はいただいております。次に、簡易マザーズホーム、きりん幼児教室は、就学前の発達が気になる児童の適応訓練や機能回復等の療育を行う事業であり、本年4月から児童福祉法に基づく児童発達支援事業に移行し、1日当たり10名の児童の療育を行う予定です。保護者には療育にかかる費用の一部として1回当たり千円程度の負担をお願いすることとなります。小規模保育は隣接の増穂保育所と連携してゼロから1歳までの児童を保育する定員19名の地域型保育事業であります。保育料につきましては、他の保育所と同様に保護者の所得や兄弟の数に応じた保育料を負担していただきます。一時預かり保育は、保護者の病気や冠婚葬祭など、一時的に家庭での保育が困難な児童の保育を行う事業であります。利用対象は、市内に住居登録があつて、満1歳以上、小学就学前までの児童で、利用定員は、1日当たり10名、利用料は1日当たり3歳未満の児童の場合が2500円、3歳以上の児童の場合が1400円としております。ファミリーサポートセンターは、子育ての手助けを必要とする保護者と子育てを手伝っていただける方が会員となり、会員相互の援助活動を行う有償ボランティア事業であります。利用料は、児童を預かる時間で30分当たり250円から350円の謝礼と、燃料代の実費を利用する会員が提供

個人質問

若い世代が夢を持てる、賑わいのある町づくりを目指して

小倉 利昭 議員



問 増穂保育所隣接地に本年1月オープンしました子育て支援館について、各事業の内容を具体的に説明をいただきたい。

答 子育て支援センター、マリールームは、就学前の児童と保護者が自由に利用でき、利用料はいただいております。次に、簡易マザーズホーム、きりん幼児教室は、就学前の発達が気になる児童の適応訓練や機能回復等の療育を行う事業であり、本年4月から児童福祉法に基づく児童発達支援事業に移行し、1日当たり10名の児童の療育を行う予定です。保護者には療育にかかる費用の一部として1回当たり千円程度の負担をお願いすることとなります。小規模保育は隣接の増穂保育所と連携してゼロから1歳までの児童を保育する定員19名の地域型保育事業であります。保育料につきましては、他の保育所と同様に保護者の所得や兄弟の数に応じた保育料を負担していただきます。一時預かり保育は、保護者の病気や冠婚葬祭など、一時的に家庭での保育が困難な児童の保育を行う事業であります。利用対象は、市内に住居登録があつて、満1歳以上、小学就学前までの児童で、利用定員は、1日当たり10名、利用料は1日当たり3歳未満の児童の場合が2500円、3歳以上の児童の場合が1400円としております。ファミリーサポートセンターは、子育ての手助けを必要とする保護者と子育てを手伝っていただける方が会員となり、会員相互の援助活動を行う有償ボランティア事業であります。利用料は、児童を預かる時間で30分当たり250円から350円の謝礼と、燃料代の実費を利用する会員が提供

問 次に国道128号線バイパス沿線の活性化ということで、大型店舗の誘致状況についてご説明をお願いいたします。

答 国道128号沿線の活性化につきましては、平成28年1月に市街化調整区域における土地利用方針及び地区計画運用基準を定め、地権者等の発案による地区計画を決定することで市街化調整区域において地区計画に適合した開発が可能となる仕組みを整備したところでございます。当制度の具体的な運用状況につきましては、(株)コメリから提案された地区計画が昨年2月に都市計画決定された後、店舗面積が1万平方メートルのホームセンター建設に伴う開発行為について、去る2月4日に千葉県から許可がおりましたことから、今後は造成等の工事に着手される見込みでございます。

問 次に、道路について伺います。128号線の4車線化、現在現地を見ますとだいぶ工事の動きが目にとまりますが具体的な4車線化の計画はどのようになっていますか。

答 現在の進捗状況につきましては、二級河川小中川から経田交差点の間において増設される車線の舗装工事が完了したところであり、4車線化に伴う中央分離帯設置のため車両通行が外側車線へ移行されました。また、経田地内の交差点に設置している信号機の移設工事が完了し、押しボタン式信号から通常信号機へ変更されたところでございます。

問 その他、高齢者福祉、大網駅周辺整備、増穂学区の通学路整備、空き家対策、そして最後に有害鳥獣について質問致しました。

答 高齢者福祉、大網駅周辺整備、増穂学区の通学路整備、空き家対策、そして最後に有害鳥獣について質問致しました。